

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	50233	地域ケア会議	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	所管課	高齢者福祉課	担当班	高齢者班
基本施策				26	26	地域包括ケアシステムの構築	根拠法令	介護保険法・地域支援事業	233	地域ケア会議推進事業		☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業				
施策の展開				50	50	地域包括ケアシステムの体制づくり	戦略事業									
施策の展開							戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☐ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、見守りが必要な高齢者や何らかの支援が必要な高齢者を地域の中で支えあえる仕組みづくりを行うため、高齢者の支援や見守りに携わる関係者が地域の課題を共有し、解決するための手段を検討する地域ケア会議を小学校区域の小地域で実施する。 【個別地域ケア会議】地域でも見守りが必要な高齢者個々の支援のため、介護サービスを担う関係者、地域包括支援センター、地区民生委員等、対象者の身近な支援者で情報共有し、支援方針の統一をはかり各々の役割を確認する。 【小地域ケア会議】小学校区域で地域の高齢者支援に関わる関係職（医師、民生委員、区長、警察駐在、保健推進員、ボランティア団体、消防、安全協会、介護事業所等）で地域課題について共通認識し解決策を協議する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
・独居・高齢者世帯、家族支援がないなど、地域の見守りが必要な要介護者について、個別地域ケア会議を開催。 平成27年度5回開催。		・家族と疎遠等、地域での見守りや支えあいが必要な高齢者が増えていることから、個別地域ケア会議に加え、小地域や市全体での地域ケア会議の開催により、地域包括ケア体制づくりを推進していく必要がある。	
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
		・（民生委員）見守りを必要とする高齢者は年々増えており、地域の見守りを担う民生委員のみでは負いきれない状況にある。地域の身近な住民間での支えあいの仕組みが必要。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算)		単位:千円	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
		0					
② 特定財源の内訳 (27年度の決算)		単位:千円	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
1.国庫支出金		0					
2.都道府県支出金		0					
3.地方債		0					
4.その他		0					

事業費	費目内訳	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
事業費	財源	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0
		1. 国庫支出金	千円				
		2. 都道府県支出金	千円				
		3. 地方債	千円				
		4. その他	千円				
		5. 一般財源	千円	0	0	0	0

前年度増減理由

従事職員数 常時 2人 最大 5人 × 3日 = 延べ 15人

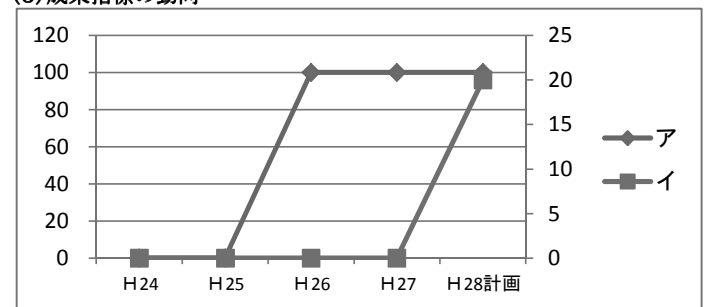
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	27年度実績 (27年度に行った主な活動) 地域での見守りや支援が必要な独居、高齢者世帯の地域の身近な協力者・関係者を地域包括支援センターが集め、個別地域ケア会議を実施。各々の見守り等の協力と支えるための役割を確認しあう		ア 個別地域ケア会議の開催回数	件	0	2	1	5	7
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 小地域ケア会議の開催回数	回	0	0	0	0	1
	対象意図 在宅生活において支援の必要と思われる高齢者 住み慣れた自宅で必要な支援を受け、自立した日常生活が不安なく送ることが出来る。 対象意図 地域の見守り支援を担う関係者 地域づくりを目的に身近な地域で、見守りや声かけ、簡単な助け合いが出来るよう小地域での話し合いの場が持てる。		ア 個別地域ケア会議実施対象者が処遇改善されたと思われる割合	%	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
			イ 小地域ケア会議の参加延人数	人	0	0	0	0	20

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
	ある程度ある		中位 1/3
	ほとんどない		上位 1/3
大きい	①	①	(1)
普通		②	
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)				数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	成果動向
	③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28計画
		平成28年度	・小地域ケア会議の実施 地域づくりを目的に身近な地域で、見守りや声かけ、簡単な助け合いが出来るよう小地域での話し合いの場を作る	28年度 29年度以降	・身近な地域で見守りや声かけ、簡単な助け合いができるよう、小地域での話し合いの場を持つ。 ・小地域での話し合いの場を増やし、地域での支え合い体制づくりをすすめる。	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0 0 0 0 20